ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第103期（決算日　2020年６月12日）
第104期（決算日　2020年７月13日）
第105期（決算日　2020年８月12日）
第106期（決算日　2020年９月14日）
第107期（決算日　2020年10月12日）
第108期（決算日　2020年11月12日）
（作成対象期間　2020年５月13日～2020年11月12日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2011年11月16日～2021年11月12日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの受益証券
	ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	イ．インド・ルピー建ての債券 ロ．インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの ⅰ．インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ⅱ．国際機関等が発行する債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から１年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

◇TUZ04839202011112◇

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<4839>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPモルガン GBI-EM インド（円換算）		公社債組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
79期末（2018年6月12日）	9,671	60	0.5	18,858	0.4	94.1	4,092
80期末（2018年7月12日）	9,581	60	△ 0.3	18,898	0.2	95.1	3,755
81期末（2018年8月13日）	9,504	60	△ 0.2	18,931	0.2	95.9	3,698
82期末（2018年9月12日）	8,928	60	△ 5.4	17,867	△ 5.6	94.8	3,429
83期末（2018年10月12日）	8,832	60	△ 0.4	17,942	0.4	94.1	3,432
84期末（2018年11月12日）	9,210	60	5.0	18,954	5.6	94.8	3,546
85期末（2018年12月12日）	9,262	60	1.2	19,333	2.0	94.4	2,480
86期末（2019年1月15日）	9,076	60	△ 1.4	19,150	△ 0.9	84.2	2,424
87期末（2019年2月12日）	9,162	60	1.6	19,472	1.7	94.8	2,465
88期末（2019年3月12日）	9,437	60	3.7	20,235	3.9	96.0	2,556
89期末（2019年4月12日）	9,575	60	2.1	20,590	1.8	95.8	2,575
90期末（2019年5月13日）	9,277	60	△ 2.5	20,092	△ 2.4	95.6	2,331
91期末（2019年6月12日）	9,456	60	2.6	20,627	2.7	96.2	2,375
92期末（2019年7月12日）	9,821	60	4.5	21,625	4.8	95.6	2,497
93期末（2019年8月13日）	9,140	60	△ 6.3	20,262	△ 6.3	94.2	2,371
94期末（2019年9月12日）	9,277	60	2.2	20,689	2.1	96.5	2,414
95期末（2019年10月15日）	9,245	60	0.3	20,867	0.9	93.5	2,377
96期末（2019年11月12日）	9,258	60	0.8	21,056	0.9	95.2	2,374
97期末（2019年12月12日）	9,241	60	0.5	21,124	0.3	94.5	2,318
98期末（2020年1月14日）	9,404	60	2.4	21,664	2.6	94.8	2,358
99期末（2020年2月12日）	9,393	60	0.5	21,848	0.9	95.9	2,346
100期末（2020年3月12日）	8,781	60	△ 5.9	20,587	△ 5.8	95.1	2,114
101期末（2020年4月13日）	8,523	60	△ 2.3	20,453	△ 0.6	93.1	1,980
102期末（2020年5月12日）	8,540	60	0.9	20,877	2.1	93.6	1,982
103期末（2020年6月12日）	8,639	60	1.9	21,021	0.7	93.0	1,994
104期末（2020年7月13日）	8,835	60	3.0	21,695	3.2	93.9	2,025
105期末（2020年8月12日）	8,867	60	1.0	21,804	0.5	85.2	1,999
106期末（2020年9月14日）	8,813	60	0.1	21,797	△ 0.0	84.2	1,909
107期末（2020年10月12日）	8,854	60	1.1	22,206	1.9	84.5	1,918
108期末（2020年11月12日）	8,679	60	△ 1.3	21,935	△ 1.2	92.4	1,780

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　インド（円換算）は、ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　インド（インド・ルピーベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　インド（インド・ルピーベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

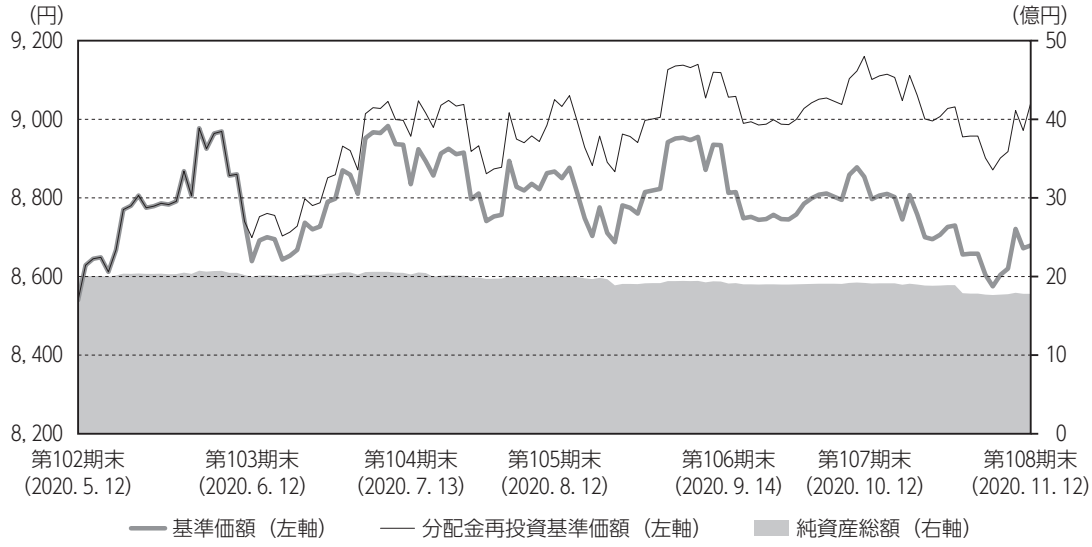
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第103期首：8, 540円
第108期末：8, 679円（既払分配金360円）
騰　落　率：5. 9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーが対円で下落（円高）したことはマイナス要因となったものの、債券の利息収入と債券価格の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		JPモルガン GBI－EM インド(円換算)		公社債組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	
		円	%		%	%
第103期	(期首)2020年5月12日	8,540	—	20,877	—	93.6
	5月末	8,791	2.9	21,277	1.9	92.4
	(期末)2020年6月12日	8,699	1.9	21,021	0.7	93.0
第104期	(期首)2020年6月12日	8,639	—	21,021	—	93.0
	6月末	8,870	2.7	21,572	2.6	92.5
	(期末)2020年7月13日	8,895	3.0	21,695	3.2	93.9
第105期	(期首)2020年7月13日	8,835	—	21,695	—	93.9
	7月末	8,757	△0.9	21,399	△1.4	85.8
	(期末)2020年8月12日	8,927	1.0	21,804	0.5	85.2
第106期	(期首)2020年8月12日	8,867	—	21,804	—	85.2
	8月末	8,819	△0.5	21,623	△0.8	84.2
	(期末)2020年9月14日	8,873	0.1	21,797	△0.0	84.2
第107期	(期首)2020年9月14日	8,813	—	21,797	—	84.2
	9月末	8,785	△0.3	21,854	0.3	84.0
	(期末)2020年10月12日	8,914	1.1	22,206	1.9	84.5
第108期	(期首)2020年10月12日	8,854	—	22,206	—	84.5
	10月末	8,658	△2.2	21,768	△2.0	91.5
	(期末)2020年11月12日	8,739	△1.3	21,935	△1.2	92.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2020. 5. 13 ～ 2020. 11. 12）

■インド債券市況

インド債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。

ＲＢＩ（インド準備銀行）が2020年５月22日（現地）に臨時の金融政策委員会を開催し、政策金利であるレポ金利を4. 40％から4. 00％に、リバース・レポ金利を3. 75％から3. 35％に引き下げたことなどから、当作成期首より金利は低下しました。その後は、インフレ率が上昇し追加金融緩和観測が後退したことから金利は上昇したものの、ＲＢＩが10月の会合における声明文で一段と金融緩和的なスタンスを示し、追加緩和の余地を示したことなどから、金利の低下圧力は強まりました。

■為替相場

インド・ルピーは対円で小幅に下落しました。

当作成期首より2020年８月末にかけて、新型コロナウイルスの治療法開発への楽観的な見方が広がったことやインド株式市場の上昇などによる良好な市場心理を背景に、インド・ルピーは対円で上昇しました。その後は、追加金融緩和期待や米国の大統領・議会選挙を控えて市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどを背景に、ルピーは対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

ポートフォリオについて （2020. 5. 13 ～ 2020. 11. 12）

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

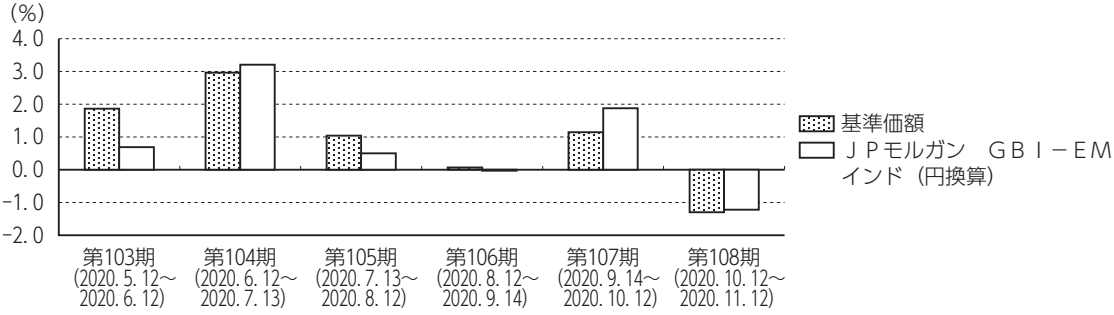
■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目	第103期 2020年５月13日 ～2020年６月12日	第104期 2020年６月13日 ～2020年７月13日	第105期 2020年７月14日 ～2020年８月12日	第106期 2020年８月13日 ～2020年９月14日	第107期 2020年９月15日 ～2020年10月12日	第108期 2020年10月13日 ～2020年11月12日
当期分配金（税込み）（円）	**60**	**60**	**60**	**60**	**60**	**60**
対基準価額比率（％）	0.69	0.67	0.67	0.68	0.67	0.69
当期の収益　（円）	42	43	37	32	33	33
当期の収益以外（円）	17	16	22	27	26	26
翌期繰越分配対象額（円）	4,897	4,880	4,858	4,830	4,803	4,777

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓　42.98円	✓　43.32円	✓　37.35円	✓　32.08円	✓　33.18円	✓　33.31円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	4,896.39	✓ 4,896.47	✓ 4,880.98	✓ 4,858.43	✓ 4,830.57	✓ 4,803.85
（ｄ）分配準備積立金	✓　18.13	✓　1.11	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｅ）当期分配対象額（a+b+c+d）	4,957.50	4,940.90	4,918.34	4,890.51	4,863.76	4,837.17
（ｆ）分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（e－f）	4,897.50	4,880.90	4,858.34	4,830.51	4,803.76	4,777.17

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

1万口当りの費用の明細

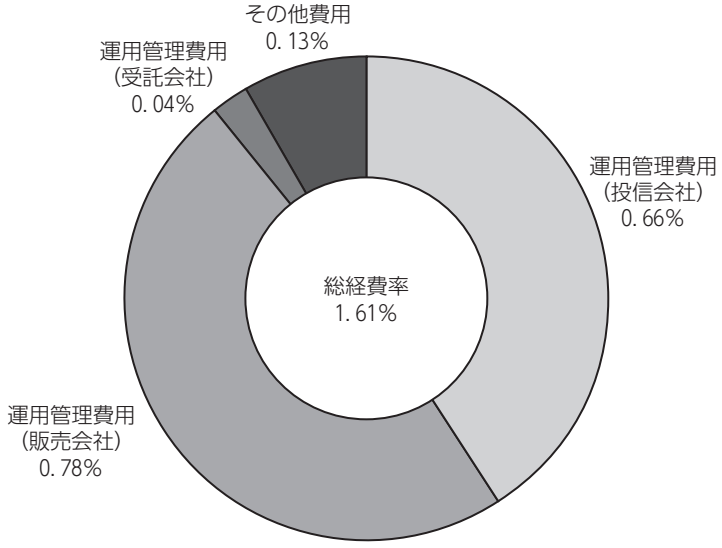
項　　目	第103期～第108期 (2020. 5. 13～2020. 11. 12)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	66円	0. 748%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は8, 795円です。**
（投 信 会 社）	(29)	(0. 335)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(34)	(0. 391)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	6	0. 065	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(4)	(0. 041)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(2)	(0. 020)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	72	0. 813	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.61%です。



（注１）１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2020年５月13日から2020年11月12日まで）

決算期	第103期～第108期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	14,871	31,486	169,555	362,087

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第102期末	第108期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	974,537	819,853	1,771,539

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月12日現在

項目	第108期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド	1,771,539	98.4
コール・ローン等、その他	28,902	1.6
投資信託財産総額	1,800,442	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝105.42円、１インド・ルピー＝1.43円です。
（注３）ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて、第108期末における外貨建純資産（1,795,888千円）の投資信託財産総額（1,810,430千円）に対する比率は、99.2％です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドの主要投資対象であるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて行った取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2020年５月13日～2020年11月12日）に該当した取引は、直物為替先渡取引が６件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

直物為替先渡取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、売買の別、想定元本、満期日その他当該取引の内容に関することについて調査を委託しました。

なお、本調査は財務諸表監査の一部ではなく、また、価格の妥当性や内部管理体制について保証を提供するものではありません。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年６月12日）、（2020年７月13日）、（2020年８月12日）、（2020年９月14日）、（2020年10月12日）、（2020年11月12日）現在

項　　目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
（A）資産	**2,012,389,015円**	**2,041,377,197円**	**2,015,236,198円**	**1,928,298,227円**	**1,933,645,328円**	**1,800,442,144円**
コール・ローン等	26,201,697	26,007,317	25,231,421	24,768,398	24,175,908	23,008,950
ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド（評価額）	1,984,760,077	2,015,200,982	1,990,004,777	1,900,764,536	1,909,239,580	1,771,539,719
未収入金	1,427,241	168,898	—	2,765,293	229,840	5,893,475
（B）負債	**17,697,183**	**16,366,659**	**15,992,946**	**18,354,867**	**15,332,899**	**20,375,489**
未払収益分配金	13,853,439	13,751,793	13,527,981	13,003,569	13,000,156	12,305,819
未払解約金	1,282,923	45,557	—	2,698,713	109,286	5,678,717
未払信託報酬	2,546,543	2,540,842	2,422,975	2,596,029	2,154,855	2,309,493
その他未払費用	14,278	28,467	41,990	56,556	68,602	81,460
（C）純資産総額（A－B）	**1,994,691,832**	**2,025,010,538**	**1,999,243,252**	**1,909,943,360**	**1,918,312,429**	**1,780,066,655**
元本	1,847,125,288	1,833,572,440	1,803,730,881	1,733,809,231	1,733,354,211	1,640,775,990
次期繰越損益金	147,566,544	191,438,098	195,512,371	176,134,129	184,958,218	139,290,665
（D）受益権総口数	**2,308,906,614口**	**2,291,965,554口**	**2,254,663,606口**	**2,167,261,544口**	**2,166,692,769口**	**2,050,969,993口**
１万口当り基準価額（C／D）	**8,639円**	**8,835円**	**8,867円**	**8,813円**	**8,854円**	**8,679円**

＊第102期末における元本額は1,857,625,118円、当作成期間（第103期～第108期）中における追加設定元本額は31,761,125円、同解約元本額は248,610,253円です。
＊第108期末の計算口数当りの純資産額は8,679円です。

■損益の状況

第103期　自 2020年５月13日　至 2020年６月12日
第104期　自 2020年６月13日　至 2020年７月13日
第105期　自 2020年７月14日　至 2020年８月12日
第106期　自 2020年８月13日　至 2020年９月14日
第107期　自 2020年９月15日　至 2020年10月12日
第108期　自 2020年10月13日　至 2020年11月12日

項　　目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
（A）配当等収益	**△ 531円**	**△ 406円**	**△ 282円**	**△ 530円**	**△ 373円**	**△ 210円**
受取利息	1	17	17	6	3	4
支払利息	△ 532	△ 423	△ 299	△ 536	△ 376	△ 214
（B）有価証券売買損益	**39,379,735**	**61,254,612**	**23,155,043**	**3,817,833**	**24,037,900**	**△ 21,158,248**
売買益	39,702,886	61,835,061	23,408,405	5,161,402	24,089,876	1,452,451
売買損	△ 323,151	△ 580,449	△ 253,362	△ 1,343,569	△ 51,976	△ 22,610,699
（C）信託報酬等	**△ 2,560,807**	**△ 2,555,045**	**△ 2,436,522**	**△ 2,610,595**	**△ 2,166,901**	**△ 2,322,405**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**36,818,397**	**58,699,161**	**20,718,239**	**1,206,708**	**21,870,626**	**△ 23,480,863**
（E）前期繰越損益金	**△ 413,140,260**	**△ 386,171,600**	**△ 331,219,398**	**△ 305,653,087**	**△ 310,392,748**	**△ 279,099,098**
（F）追加信託差損益金	**537,741,846**	**532,662,330**	**519,541,511**	**493,584,077**	**486,480,496**	**454,176,445**
（配当等相当額）	（ 1,130,531,211）	（ 1,122,254,080）	（ 1,100,498,280）	（ 1,052,949,649）	（ 1,046,637,567）	（ 985,255,754）
（売買損益相当額）	（△ 592,789,365）	（△ 589,591,750）	（△ 580,956,769）	（△ 559,365,572）	（△ 560,157,071）	（△ 531,079,309）
（G）合計（D＋E＋F）	**161,419,983**	**205,189,891**	**209,040,352**	**189,137,698**	**197,958,374**	**151,596,484**
（H）収益分配金	**△ 13,853,439**	**△ 13,751,793**	**△ 13,527,981**	**△ 13,003,569**	**△ 13,000,156**	**△ 12,305,819**
次期繰越損益金（G＋H）	**147,566,544**	**191,438,098**	**195,512,371**	**176,134,129**	**184,958,218**	**139,290,665**
追加信託差損益金	537,741,846	529,095,616	514,436,602	487,533,302	480,671,019	448,703,938
（配当等相当額）	（ 1,130,531,211）	（ 1,118,687,366）	（ 1,095,393,371）	（ 1,046,898,874）	（ 1,040,828,090）	（ 979,783,247）
（売買損益相当額）	（△ 592,789,365）	（△ 589,591,750）	（△ 580,956,769）	（△ 559,365,572）	（△ 560,157,071）	（△ 531,079,309）
分配準備積立金	257,389	—	—	—	—	—
繰越損益金	△ 390,432,691	△ 337,657,518	△ 318,924,231	△ 311,399,173	△ 295,712,801	△ 309,413,273

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,924,088円	9,930,331円	8,423,072円	6,952,794円	7,190,679円	6,833,312円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,130,531,211	1,122,254,080	1,100,498,280	1,052,949,649	1,046,637,567	985,255,754
(d) 分配準備積立金	4,186,740	254,748	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	1,144,642,039	1,132,439,159	1,108,921,352	1,059,902,443	1,053,828,246	992,089,066
(f) 分配金	13,853,439	13,751,793	13,527,981	13,003,569	13,000,156	12,305,819
(g) 翌期繰越分配対象額（e−f）	1,130,788,600	1,118,687,366	1,095,393,371	1,046,898,874	1,040,828,090	979,783,247
(h) 受益権総口数	2,308,906,614口	2,291,965,554口	2,254,663,606口	2,167,261,544口	2,166,692,769口	2,050,969,993口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

運用報告書　第９期　（決算日　2020年11月12日）

（作成対象期間　2019年11月13日～2020年11月12日）

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

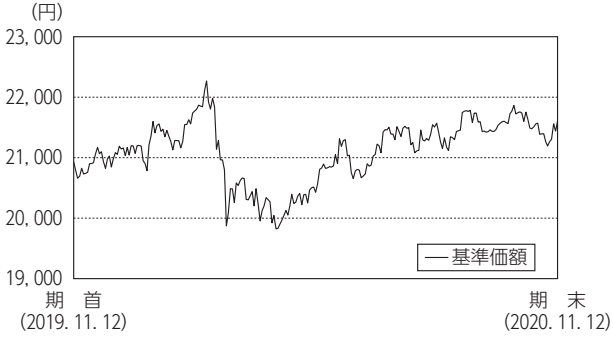
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ．インド・ルピー建ての債券 ロ．インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの ⅰ．インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ⅱ．国際機関等が発行する債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		JPモルガン GBI-EM インド(円換算)		公社債組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	
	円	%		%	%
(期首)2019年11月12日	20,929	—	21,056	—	95.6
11月末	21,066	0.7	21,214	0.8	96.9
12月末	21,192	1.3	21,238	0.9	94.9
2020年1月末	21,280	1.7	21,386	1.6	95.8
2月末	21,839	4.3	21,920	4.1	95.8
3月末	20,486	△ 2.1	20,919	△ 0.7	93.1
4月末	20,364	△ 2.7	20,901	△ 0.7	93.1
5月末	20,863	△ 0.3	21,277	1.0	92.9
6月末	21,224	1.4	21,572	2.5	93.0
7月末	21,122	0.9	21,399	1.6	86.3
8月末	21,445	2.5	21,623	2.7	84.6
9月末	21,534	2.9	21,854	3.8	84.4
10月末	21,394	2.2	21,768	3.4	92.0
(期末)2020年11月12日	21,608	3.2	21,935	4.2	92.8

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) JPモルガン GBI-EM インド(円換算)は、JPモルガン GBI-EM インド(インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPモルガン GBI-EM インド(インド・ルピーベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首:20,929円　期末:21,608円　騰落率:3.2%

【基準価額の主な変動要因】

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーが対円で下落(円高)したことはマイナス要因となったものの、債券の利息収入と債券価格の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド債券市況

インド債券金利は低下(債券価格は上昇)しました。

当作成期首より、インド債券金利は、追加緩和期待が後退し政策金利が据え置かれる思惑から底堅く推移しました。2020年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大が世界的に広まり、インドもその影響を受ける中で、政府は全土の封鎖措置を決定しました。景気への悪影響を軽減するために、RBI(インド準備銀行)は政策金利であるレポ金利を5.15%から4.00%に、リバース・レポ金利を4.90%から3.35%に引き下げ、対象を絞った長期の資金供給や流動性供給策などの追加金融緩和を実施したため、金利の低下圧力が強まる展開になりました。

○為替相場

インド・ルピーは対円で下落しました。

当作成期首より、インド株式市場が堅調に推移し史上最高値更新したことなどを受けて、インド・ルピーは対円で堅調に推移しました。2020年2月に入り、新型コロナウイルスの感染拡大が世界的に広まり、投資家のリスク回避姿勢が強まる中で安全資産である円が買われたことから、ルピーは対円で急落しました。その後も、RBI(インド準備銀行)の緩和的な政策を背景に、ルピーは対円で下落圧力が強まる展開になりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行います。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	27
(保管費用)	(19)
(その他)	(8)
合計	27

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
(1)公社債

(2019年11月13日から2020年11月12日まで)

			買付額	売付額
外国	アメリカ	特殊債券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 217 (—)
		社債券	—	366 (—)
	インド	国債証券	千インド・ルピー —	千インド・ルピー 247,720 (—)
		特殊債券	141,257	226,727 (—)
		社債券	—	20,560 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

(2)直物為替先渡取引

(2019年11月13日から2020年11月12日まで)

種類	取引契約金額	
	買建	売建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	2,462	31

(注1) インド・ルピー(対象通貨)の買建および売建の金額です。
(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公社債

(2019年11月13日から2020年11月12日まで)

当期 買付 銘柄	金額	当期 売付 銘柄	金額
	千円		千円
ASIAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 6.2% 2026/10/6	191,559	India Government Bond (インド) 8.28% 2027/9/21	161,022
ASIAN DEVELOPMENT BANK (国際機関) 6.15% 2030/2/25	9,025	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 2021/6/15	157,751
		India Government Bond (インド) 6.79% 2027/5/15	119,470
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 4.65% 2024/10/16	82,975
		India Government Bond (インド) 6.68% 2031/9/17	73,350
		INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6.3% 2024/11/25	44,674
		Bharat Petroleum Corp Ltd (インド) 4.625% 2022/10/25	38,367
		ICICI Bank Ltd (インド) 7.6% 2023/10/7	29,401
		INTL. FIN. CORP. (国際機関) 4.85% 2022/3/7	27,847
		EXPORT IMPORT BANK OF INDIA (インド) 3.875% 2028/2/1	23,674

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期	当期末							
区分	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	1,400	1,496	157,739	8.8	—	4.7	1.3	2.8
	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円	%	%	%	%	%
インド	936,110	1,059,215	1,514,678	84.1	—	68.4	11.4	4.3
合計	—	—	1,672,417	92.8	—	73.1	12.7	7.0

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注4）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区分		当期末						
		銘柄	種類	年利率	額面金額	評価額		償還年月日
						外貨建金額	邦貨換算金額	
				%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ		EXPORT IMPORT BANK OF INDIA	特殊債券	3.8750	300	325	34,333	2028/02/01
		Oil India Ltd	社債券	5.3750	200	219	23,125	2024/04/17
		Adani Transmission Ltd	社債券	4.0000	250	266	28,100	2026/08/03
		ICICI Bank Ltd/Dubai	社債券	3.8000	200	211	22,275	2027/12/14
		Reliance Holdings USA Inc	社債券	5.4000	450	473	49,905	2022/02/14
通貨小計	銘柄数	5銘柄						
	金額				1,400	1,496	157,739	
				%	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円	
インド		India Government Bond	国債証券	8.9700	150,000	180,604	258,264	2030/12/05
		India Government Bond	国債証券	9.2300	100,000	129,915	185,778	2043/12/23
		India Government Bond	国債証券	9.2000	50,000	61,214	87,536	2030/09/30
		India Government Bond	国債証券	8.1700	50,000	59,127	84,552	2044/12/01
		India Government Bond	国債証券	6.6200	70,000	69,965	100,049	2051/11/28
		India Government Bond	国債証券	6.7900	20,000	21,045	30,095	2027/05/15
		India Government Bond	国債証券	7.6100	50,000	55,375	79,186	2030/05/09
		Food Corp of India	特殊債券	9.9500	50,000	53,642	76,708	2022/03/07
		Housing & Urban Development Corp Ltd	特殊債券	8.3700	50,000	55,634	79,556	2029/03/23
		ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	6.2000	130,000	135,713	194,070	2026/10/06
		ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	6.1500	6,110	6,360	9,095	2030/02/25
		HDFC Bank Ltd	社債券	7.9500	30,000	32,708	46,772	2026/09/21
		ICICI Bank Ltd	社債券	7.6000	30,000	31,727	45,370	2023/10/07
		Axis Bank Ltd	社債券	8.8500	50,000	55,503	79,369	2024/12/05
		INDIAN RENEW ENERGY DEV	社債券	8.0500	50,000	53,657	76,730	2027/03/29
		NTPC Ltd	社債券	9.1700	50,000	57,022	81,541	2024/09/22
通貨小計	銘柄数	16銘柄						
	金額				936,110	1,059,215	1,514,678	
合計	銘柄数	21銘柄						
	金額						1,672,417	

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3)直物為替先渡取引残高

2020年11月12日現在

種類	取引契約残高 想定元本額	
	買建	売建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	189	—

(注1) インド・ルピー(対象通貨)の買建および売建の金額です。
(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月12日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,672,417	92.4
コール・ローン等、その他	138,013	7.6
投資信託財産総額	1,810,430	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=105.42円、1インド・ルピー=1.43円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(1,795,888千円)の投資信託財産総額(1,810,430千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年11月12日現在

項目	当期末
(A)資産	**1,810,430,865円**
コール・ローン等	97,018,549
公社債(評価額)	1,672,417,487
未収利息	39,940,945
前払金	223,478
前払費用	830,406
(B)負債	**8,485,334**
未払金	2,454,359
未払解約金	5,893,475
その他未払費用	137,500
(C)純資産総額(A−B)	**1,801,945,531**
元本	833,933,781
次期繰越損益金	968,011,750
(D)受益権総口数	**833,933,781口**
1万口当り基準価額(C／D)	**21,608円**

＊期首における元本額は1,148,987,668円、当作成期間中における追加設定元本額は27,720,789円、同解約元本額は342,774,676円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インド・ボンド・オープン(毎月決算型)14,080,153円、ダイワ・インド・ルピー債オープン(毎月分配型)819,853,628円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は21,608円です。

■損益の状況

当期 自 2019年11月13日 至 2020年11月12日

項目	当期	
(A)配当等収益		**125,252,241円**
受取利息		125,260,739
支払利息	△	8,498
(B)有価証券売買損益	△	**59,723,606**
売買益		95,138,476
売買損	△	154,862,082
(C)先物取引等損益		**859,855**
取引益		16,572,328
取引損	△	15,712,473
(D)その他費用	△	**2,735,439**
(E)当期損益金(A＋B＋C＋D)		**63,653,051**
(F)前期繰越損益金		**1,255,725,468**
(G)解約差損益金	△	**381,968,840**
(H)追加信託差損益金		**30,602,071**
(I)合計(E＋F＋G＋H)		**968,011,750**
次期繰越損益金(I)		**968,011,750**

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。